

令和2年度

自己点検・評価および学校関係者評価報告書

令和3年3月

学校法人ミズモト学園
東海調理製菓専門学校

1 学校の概況

1. 設置者 学校法人ミズモト学園 理事長 水元久人
2. 学校名 東海調理製菓専門学校
3. 校長名 水元久人
4. 調理師養成施設指定 昭和52年2月15日 開校 昭和52年4月1日
5. 専修学校認可 昭和52年12月26日
6. 専修学校開校 平成53年4月1日
7. 製菓衛生師養成施設指定 平成8年2月2日
8. 所在地 〒430-0928 静岡県浜松市中区板屋町 101-11
(Tel) 053-413-2005
9. 課程 衛生専門課程

10. 学校の沿革

- 1973年 浜松市田町に水元クッキングスクールを開校
- 1977年 浜松市高林に東海調理師専門学校を開校
- 1984年 学校法人ミズモト学園を設立
- 1991年 東海調理師専門学校に製菓科を新設
- 1994年 東海調理師専門学校を東海調理製菓専門学校に改称
- 2000年 浜松市板屋町に東海調理製菓専門学校を移転
浜松市板屋町に研修レストラン「プティ・カザリス」を開店
- 2001年 フランス共和国パリ郊外に東海調理製菓専門学校フランス校
シャトー・ド・ヴィニーを開校
- 2003年 東海調理製菓専門学校に通信課程製菓製パン科を新設
- 2017年 東海調理製菓専門学校の東田町校舎取得、シェフ・パティシエ科新設

11. 建学の精神

心・技・知・友 (健全な心を養い、技術を磨き、知識を広め、友を作ろう)

12. 教育理念

- (1) プロを目指すなら一流を目指せ。

他の人より優れた技術と知識を習得し、研究と努力を喜びとし、己の職業に誇りと生きがいを感じ、心身共に健全な人、
これを一流のプロと言う。

- (2) 人間の能力は、思考と努力で無限に高められる。

人は誰でも計り知れない可能性を持っている。可能と思えば可能になり、不可能と思えば、その瞬間から不可能となる。

13. 教育目的

教育基本法に則り、学校教育法並びに調理師法及び製菓衛生師法に従い、「調理師に必要な科学的知識と調理技術」をはじめ保健衛生、食品等の専門分野の深い知識と共に「教養の向上と人格の陶冶」をはかり「プロとして通用する優秀な調理師」を養成することを目的とする。

14. 教育目標

業界が求める調理師・パティシエの育成

15. 設置学科

調理技術科専門料理コース（昼2年 男女 入学定員70名）

調理技術科カフェフードコース（昼2年 男女 入学定員40名）

調理師科（昼1年 男女 入学定員40名）

製菓技術科（昼2年 男女 入学定員80名）

シェフ・パティシエ科（昼1年 男女 入学定員30名）

附帯教育

フード・スイーツ科（夜間課程1年 男女 入学定員40名）

製菓衛生師科（通信課程1年 男女 入学定員240名）

16. 学生数（令和2年5月1日現在） 261名（附帯教育を除く）

17. 教職員数（令和2年4月1日現在） 45名

18. 学校建物面積 2833㎡

2 本年度定めた重点目標

(1) 教員の指導力向上

- ①教育課程の見直し
- ②実習科目の評価基準の見直し
- ③授業計画の見直し
- ④学生便覧の編集
- ⑤教職員の技術向上支援

(2) 学生募集目標の達成

- ①SNS発信の強化
- ②オンライン募集活動の強化
- ③オープンキャンパス参加者の確保
- ④オープンキャンパス内容の充実

(3) 学生指導の徹底

- ①生活指導と学習指導の両面からの支援により修学の質を高める。
- ②保護者との連携
- ③コンクールへの取り組み支援の強化

(4) 資格合格率100%の達成

- ①製菓衛生師国家資格取得にむけての学習サポート
- ②中国料理料飲サービス検定3級取得にむけての学習サポート

(5) 就職率100%の達成と進路指導の向上

- ①1年生への将来ビジョンや職業意識の啓発
- ②個々の活動状況の把握と的確な指導により就職希望者全員の年内内定をめざす。
- ③卒業生の動向の把握

(6) 2年次教本の原稿作成

3 自己点検・自己評価委員会

(1) 委員名簿

- ① 理事長・校長 水元久人(委員長)
- ② 学園長 水元重友
- ③ 副校長 鈴木裕子
- ④ 調理学科長 大石勝洋
- ⑤ 製菓学科長 杉浦孝規
- ⑥ 進路指導部長 田中智明
- ⑦ 教務部長 若生富士男

(2) 自己点検・自己評価の委員会開催記録

- 令和2年5月19日 第1回自己点検・自己評価委員会開催
- 令和2年9月10日 第2回自己点検・自己評価委員会開催
- 令和3年2月 1日 第3回自己点検・自己評価委員会開催
- 令和3年2月22日 自己点検・自己評価の実施
- 令和3年3月 3日 自己評価の結果及び改善方策の設置者への報告
- 令和3年5月27日 自己評価の設置者への報告(理事会で報告)
- 令和3年4月 2日 自己評価の公表

4 学校関係者評価委員会

(1) 委員名簿

- ① 太田一 夫 学校法人ミズモト学園 理事
- ② 中村 通 有限会社マスミ 代表取締役
- ③ 増田 裕樹 株式会社スカイブリッジ 取締役
- ④ 山下真理夫 卒業生

(2) 学校関係者評価委員会開催記録

- 令和2年5月14日 第1回学校関係者評価委員会開催
- 令和3年2月16日 第2回学校関係者評価委員会開催
- 令和3年3月 6日 学校関係者評価の実施
- 令和3年3月23日 学校関係者評価の結果及び改善方策の設置者への報告
- 令和3年4月 2日 学校関係者評価の結果及び改善方策の公表

5 自己点検・評価および学校関係者評価一覧

(1) 教育理念・目標

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
1	1	学校の理念・目的・育人人材像は定められているか	4	学園として建学の精神・理念・育人人材像を謳い、目的は学則に明記している。教職員には4月の研修、学生には学生便覧、入学式、新入生研修で周知。	4	(太田委員) 学生便覧として完成させたことは非常に評価できる。今後は運用しながら加筆、修正を。
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	本校の特色を明確にし、学校案内やホームページにも掲載している。またそれに沿った職業教育を実践している。	4	
1	3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	学園全体また学校としての短期・中期の経営計画を立てて学校運営に取り組んでいる。	4	
1	4	学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	学生に配布する「学生便覧」に明記し保護者には入学式や保護者会にて周知している。また、学校案内やホームページにも掲載している。	4	
1	5	各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	学校関係者評価委員会での意見や各業界団体からのニーズ、企業研修先の教員訪問等を通して社会のニーズを捉え、教育活動に反映させている。	4	(太田委員) 社会ニーズが変わることも考慮して随時見直しをしてください。
<p>(1) 課題 職業実践専門課程への移行への取組が課題</p> <p>(2) 改善策 今年度、学生便覧を作成し各種規定を整備した。次年度はさらにブラッシュアップさせていくことが必要。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(2) 学校運営

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目			自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
2	1	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	年度毎に事業計画が作成され、学園会議での協議を経た後、理事会・評議委員会での承認を経て策定される。	4	
2	2	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	年度毎に事業計画に沿った運営方針が策定され、年度当初の学園全体会で全教職員に周知しそれに取り組む体制も整えている。	4	
2	3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4	年度当初の学園全体会で学園、学校組織図が発表され職務役割が明確にされている。校務分掌も毎年見直し意思決定、業務共に概ね有効に機能している。	4	
2	4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	法人本部労務において、必要に応じて就業規則を見直し整備している。	4	
2	5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	教務に関しては、職員会議を経て校長が決定する。財務に関しては、法人本部において経理規程に則って執行される。	4	
2	6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	業界、地域からの苦情に対して教職員が情報を共有し、早急に対応する体制を整えている。	4	
2	7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	学校紹介・施設設備・資格取得・就職サポート等の学校情報をホームページ上に公開している。また、日々のトピックスも公開し情報発信をしている。	4	
2	8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	学籍管理、出欠管理、成績管理、学生募集において各種ソフトを用いて効率化を図っている。R2は授業アンケートをオンラインに変更し効率化を図った。	4	(増田委員) オフラインでしかできない事、またオンラインでもできる内容も含めて「全体が共有できる仕組み」は非常に重要だと考えます。

- (1) 課題 情報システムにおいて教職員個人の能力に頼る部分が大きく、オンラインの需要が高まる中、ネットワーク整備や学校の運営形態に適したシステムの導入や検討および人材確保が必要。
- (2) 改善策 システムの導入や人材確保について今後、検討していく。
- (3) 特記事項 特になし。

(3) 教育活動

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
3	1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	教育目標に沿ったカリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)を策定し、教育課程を編成している。R2はそれに基づき教育課程の見直しを行なった。	4	
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	カリキュラムポリシーや養成施設の基準に基づき教育課程を編成し、授業科目毎の教育目標や到達目標をシラバスに明記している。	4	(太田委員) 学生便覧として完成させたことは非常に評価できる。今後は運用しながら加筆、修正を。また社会ニーズが変わることも考慮して随時見直しをしてください。
3	3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	カリキュラムポリシーや養成施設の基準に基づき、講義と実習をフィードバックしながら技術の定着につながるよう体系的に編成している。	4	
3	4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	学校に併設する研修施設でのレストラン実習およびパティスリー研修を通して実践的教育を行うことで、教育効果を上げている。	4	
3	5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	関連企業や業界団体および外部講師等から業界の現状等の情報を受け、カリキュラム作成、見直しの参考にしている。	4	
3	6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	1年次に関連分野の外部講師による定期的な講習、2年次に企業におけるインターンシップの実施など体系的に配置されている。	4	
3	7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	前後期の年2回、学生による授業評価として「授業アンケート」を全教員が実施し、その結果を教職員で共有し、授業改善や質の向上に取り組んでいる。	4	

3	8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	「学校関係者評価委員会」において外部の業界団体役職者と企業役職者からの助言等を取り入れ、職業教育の改善の参考にしている。	4	
3	9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	本校学則の「実施細則」「試験、補講、成績評価に関する規程」により規定され、「履修の手引き」をもって学生及び保護者に周知している。	4	(太田委員) 学生便覧として完成させたことは非常に評価できる。今後は運用しながら加筆、修正を。
3	10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	製菓衛生師、中国料理料飲接遇検定において資格取得のための教科科目がカリキュラムに組み込まれ、適切に指導をしている。	3. 3	
3	11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	調理師および製菓衛生師養成施設の指定基準に基づき資格や経験年数を満たすとともに、本校の教育目標を具現化できる教員を採用している。	4	
3	12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	調理製菓業界において知識、技術等の専門性に長け、それぞれの現場において指導者経験のある人材を採用する方針をとっている。	4	
3	13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	関係団体による研修会には積極的に参加している。また業界主催の各種コンクールや検定試験に取り組むことで技術の向上に努めている。	3	(山下委員) 授業内容の質の向上に常に取り組んでいることは非常に評価できる。
3	14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	学園全体の教職員研修を年1回、資質向上・能力開発等を目的に実施している。また新任教員には校内外での新任教員研修を実施している。	4	
<p>(1) 課題 教員間での授業見学や、教員が外部研修に参加できる環境づくりが必要である。</p> <p>(2) 改善策 教員の担当授業時間の平準化、教員間の授業見学に対する積極的な取組姿勢の醸成。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(4) 学修成果

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
1	就職率の向上が図られているか	4	就職率は毎年100%を維持している。就職面談、書類作成、面接指導は担任や就職担当教員がきめ細かく行い進路指導部がバックアップする体制をとっている。	4	(太田委員) 専門家による就職指導講座は必要だと思いません。校内教員だけですと時代の変化、流行に対応が遅くなる危険があります。 (中村・増田・山下委員) コロナ禍・個人差などの要因もあるため、その中の100%の内定率は評価できる。
2	資格取得率の向上が図られているか	4	製菓衛生師国家資格取得100%を目標に本校独自のプログラムにより指導をしている。また習熟度の低い学生には放課後の補習等で底上げを図っている。	4	(太田委員) 試験対策は反復練習が一番だと思う。引続き指導をお願いしたい。
3	退学率の低減が図られているか	4	学生と担任との個人面談を年間3回～4回実施し、学生の個々の状況等を把握するよう努めている。また保護者との連携を図る体制を整えている。	4	(中村委員) コロナ禍の中で退学者がほぼはず1年間指導をしてきた先生方に敬意を表します。
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	卒業生アンケートにより卒業生の近況を把握すると共に、企業訪問等による情報交換により把握している。	4	(増田委員) 卒業生とのコミュニケーションは重要なので今後も継続をお願いします。
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	卒業生アンケートによる卒業生の近況や卒業生および企業からの情報提供により、本校での教育効果を把握し、教育活動に活かす取組をしている。	4	(太田委員) 卒業生の動向調査は難しいと思いますが、参考資料としては大きな効果があると思います。と同時に先輩後輩ということで学生の進路選択の一つの指標になると思います。

- (1) 課題 ①資格取得における低学力の学生への指導体制。②卒業生状況を把握し、教育内容や進路指導にフィードバックさせる体制の強化。
- (2) 改善策 ①資格担当教員を明確にする。②進路指導部の教員間での情報共有を密にし、的確な進路指導に発展させる。
- (3) 特記事項 特になし。

(5) 学生支援

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
5	1	進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4	就職指導室の整備、求人票の開示、「就職ガイド」の配布、担任による就職面談、就職セミナーの開催等、就職活動を支援し的確なアドバイスをしている。	4	
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	担任制をとっているため学生からの相談は主として担任が応じるが、状況によって学科長、副校長が対応する体制はできている。	4	(太田委員) 早期の学生相談が学生の不安、悩みに対応できると思います。また学校を楽しくする方策も考えられると思います。
5	3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	日本学生支援機構貸与奨学金・ミズモト学園貸与奨学金等制度により、学生の経済的側面に対する支援体制を整備している。	4	
5	4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	毎年4月に健康診断を実施、今年はコロナウイルス感染症にともない「健康観察票」を取り入れ毎朝、担任が確認した。	4	
5	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	放課後を利用した課外活動として「課外ゼミ」と「サークル活動」を実施している。授業外の技術習得やコンクールへの出場など教育効果を上げている。	4	(太田委員) このようにコンクールが中止になった時の対応も大切。校内での発表会も面白いのではないかな。
5	6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	担任が年3～4回、定期的に個人面談をし、生活上の悩み等の相談を受け助言をしている。また保護者との連携を密にして生活環境の整備に努めている。	4	(増田委員) コロナ禍で学生も不安な気持ちがあったと思われませんが、この状況下でやり抜く力も身についたと感じます。先生方の努力もあつたと感じます。

5	7	保護者と適切に連携しているか	4	1年次の4月と3月に保護者会を実施し、学則・教育課程・学生生活全般、を説明するとともに、授業参観も実施し保護者との連携を図っている。	4	
5	8	卒業生への支援体制はあるか	3	卒業後の転職、再就職に対しては求人斡旋、開業希望者に対しては開業支援、宣伝などを随時行なっている。	3	(山下委員) 卒業生からの連絡がないと状況把握は困難だ と思うので、卒業生から情報を得るしくみが欲しいのではないか。
5	9	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校内での職業別ガイダンスへの参加、インターンシップや体験授業の受け入れ、家庭科授業や家庭科クラブへの講師派遣など積極的に取り組んでいる。	4	(太田委員) 学校見学会で高校時の先輩、後輩などのコミュニケーションが図れると雰囲気も和み面白い
<p>(1) 課題 同窓会組織の整備</p> <p>(2) 改善策 創立50周年事業を機として数年かけて同窓会組織を整備する。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(6) 教育環境

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

1		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	専修学校設置基準及び調理師報施行令または製菓衛生師施行令の基準を満たし、適切に整備されている。	4	
6	2	カリキュラム上必要となる実習に用いる教材、器材およびソフトウェア等を使用できる実習環境が整っているか。	4	実習設備において実習室の改修、実習機器の定期的な入替えをし、設備の充実を図っている。また今年度全ての教室にプロジェクターを設置した。	4	
6	3	教員に対して、学習指導のための研修や教材の利用についての研修を実施しているか	4	新任教員に対して指導研修、学習指導案を活用しての研究授業の実施の他、今年度は2年次の実習教本やパワーポイントを用いた教材の作成を行なった。	4	(太田委員) 教員間の指導内容の共有化が図られたことは大きなプラスだと思います。
6	4	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	併設する研修レストランでの実習はシラバスにより学習内容を定めている。企業実習では事前指導、研修日誌、研修期間中の巡回、評価等の体制を整備。	4	
6	5	防災に対する体制は整備されているか	4	学園の防災マニュアルに基づいて、緊急連絡体制及び緊急対応の体制も整っている。また、校内において防災訓練を年間に2回実施している。	4	
<p>(1) 課題 ①オンラインの実施にあたりネットワーク環境の整備を検討。②外壁補修工事を要する。</p> <p>(2) 改善策 ①必要性も含めて検討を始める。②令和3年度に外壁補修の実施を検討する。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(7) 学生の受入募集

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	広報年間スケジュールに則り、高校訪問・DM発送・SNSの配信、校外での進学相談会を行い、年間を通じてオープンキャンパス等を実施している。	4	(太田委員) サイトの更新の多さには感心した。 オープンキャンパスの参加者を増やす施策として在校生に出身校の部活訪問など学校に訪問してもらうのもどうでしょうか。
7	2	学校案内等には選考方法など求める人物像や入学に必要なが学力、スキルなどの要件が明示されているか	4	学校案内書、入試要項、ホームページにおいて入学資格、選考方法、求める人物像を明示している。	4	
7	3	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	学生のコンクールでの入賞実績、資格取得率、就職内定率、就職実績などを学校案内書やホームページに記載しオープンキャンパスでも説明している。	4	(増田委員)トークライブなどの学生の声を届けることはとてもよい取組だと思います。
7	4	学納金は妥当なものとなっているか	4	教育内容や施設設備等を総合的に勘案し、適切な金額を考えている。	4	
<p>(1) 課題 ①教育課程の改編に伴う学生の確保 ②継続した入学者の確保と社会人ニーズの強化と掘り起こし。</p> <p>(2) 改善策 ①新しい教育課程に沿った募集およびPR方法の作成 ②社会人ニーズの調査を実施する。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(8) 財務

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	学園および学校として学科の改編を行い財務基盤の安定を図っている。また経費削減を図る一方で、施設や設備を充実させ入学者の確保につなげる策を講じている。	4	
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	事業計画に基づき学校単位で作成され、評議員会を経て理事会にて決定されている。予算執行は予算の権限者により有効性・妥当性を考慮して行われている。	4	
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	私立学校振興助成法に基づく第三者である公認会計士による会計監査を実施しており適正である。	4	
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	私立学校法で情報開示の対象となっている財務諸表は毎年作成しており、令和2年度において財務諸表のWEB上での情報公開の体制を整備した。	4	
<p>(1) 課題 ①安定的な入学者の確保 ②建物の経年に伴う老朽化対策および施設ならびに教育環境の整備に要する支出の増加</p> <p>(2) 改善策 ②優勢順位をつけた教育環境整備の計画を作成し、計画的に整備していく。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>					

(9) 法令等の遵守

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
9	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	専修学校、調理師および製菓衛生師養成施設の設置基準を満たし適正に運営されている。	4
9	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報保護ポリシーを定め、その規定に則り諸活動に必要な個人情報を適正に扱っている。	4
9	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	「自己点検・評価に関する規程」に則り、私立専門学校等評価機構のフォーマットを基準に自己評価する体制が整い実施した。	4
9	4	自己評価結果を公開しているか	4	令和2年度において自己点検・評価書のホームページでの情報公開の体制を整備した。	4
<p>(1) 課題 整備した情報公開の体制を適切に運用し、また必要に応じてブラッシュアップさせていくことが必要。</p> <p>(2) 改善策 令和3年度において適切に運用していく。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>					

(10) 社会貢献・地域貢献

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

1		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	今年はコロナ感染症のため規模を縮小したが、学園祭の一般公開、デパートでの製菓作品の展示など産官学の連携事業を進めている。	4
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	浜松市協働センター、小中学校への講師派遣や中学生の職場体験の受入れなど積極的に行なっている。	4
<p>(1) 課題 特になし</p> <p>(2) 改善策 特になし</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>					